

研究課題 (テーマ)	災害発生時の血液透析患者対応に必要な看護師の行動指針と教育ニーズに関する調査		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学科成人看護学慢性期講座	講師	濱野 初恵
研究結果の概要			
<p>【背景・目的】近年、自然災害が多発する中で、血液透析患者は災害時において高いリスクを有する。災害発生時には治療継続が困難となる可能性があり、看護師の対応が重要であるが、体系的な教育体制は十分に整備されていない。そこで本研究は、災害発生時の血液透析患者対応に必要な看護師の対応スキルおよび教育ニーズを明らかにすることを目的とする。</p> <p>【研究方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>研究デザイン：量的調査および質的調査による混合研究</li> <li>量的調査 <ol style="list-style-type: none"> <li>対象者：全国の腎臓病療養指導士のうち看護師資格を有する者</li> <li>実施方法：層化抽出法により無作為抽出した 600 名を対象に郵送にて調査依頼を行い、QR コードを用いた Web 回答による無記名自記式質問紙調査を実施した。183 名の回答が得られた。</li> <li>調査内容：基本属性、災害発生時の対応スキルに対する自信、災害対応経験、教育ニーズ、自由記述</li> <li>分析方法：記述統計および重回帰分析を行い、自由記述は質的記述的に分析した。</li> </ol> </li> <li>質的調査 <ol style="list-style-type: none"> <li>対象者：2024 年能登半島地震において透析患者への対応を経験した看護師</li> <li>実施方法：半構造化によるグループインタビューを実施した。</li> <li>調査内容：災害時の対応経験、臨床判断、困難感、必要と感じた支援等</li> <li>分析方法：逐語録を作成し、質的帰納的に分析した。</li> </ol> </li> </ol> <p>本研究結果は、今後国内学会、学術誌にて成果を発表する予定である。</p> <p>ご協力いただきました関係者の皆様に御礼申し上げます。</p>			
今後の展開			
<p>分析結果を踏まえ、今後は透析施設にて看護師が行っている防災への教育内容を調査し、効果的な教育支援方法についての検討を行う。加えて、透析患者が防災への意識の向上および具体的な行動につなげられるような教育指標の作成を目指す。</p>			